

雲南市立病院

ステップアッププラン

果たすべき役割 編



平成 23 年 8 月 25 日

雲 南 市 立 病 院

基本方針と具体目標に対する、主な取り組み状況

1、住民の安全安心のための医療充実に努める。

- ①地域医療の拠点病院として、急性期を中心とした医療体制の提供に努める。
- ②救急医療体制を維持し、住民が安心して生活できる二次救急医療の提供に努める。
- ③情報発信に努め、定期的に地域との連携の場を確保するなど、地域に開かれた病院を目指す。
- ④高齢化の進行に伴い受診するための公共交通機関の確保と検討を行政機関とともに行う。

平成22年度は新体制の下、これまでの基本理念を継承しつつ、以下の3項目を基本目標に据え、4つの運営方針を柱に取り組みを進めた。

【基本理念】

地域に親しまれ、信頼され、愛される病院

【基本目標】

1. 住民・患者に選ばれる病院
2. 開業医に選ばれる病院
3. 職員に選ばれる病院

【運営方針】

- 4疾病5事業のうち5事業（小児医療、周産期医療、救急医療、災害医療、地域医療）を中心とした診療方針とする。
- 総合診療科を開設する。
- 地域医療人育成センターの充実を図る。
- QCサークル活動を導入する。

【主な取り組み】

- ・医師のマンパワー不足を補い、患者の早期診断・治療にも繋がる効果が期待できる、「遠隔画像診断システム」を島根大学医学部附属病院との連携により導入することを決定し、平成23年9月より稼働予定。
- ・医療機能の充実を図るため、電子カルテシステム及び画像配信システムを平成23年8月1日より稼働。
- ・病院からの情報発信や健康で暮らしていくために必要な情報を提供することを目的に、医療出前講座「飛び出す！雲南病院講座」を平成22年10月より開催する。
〈開催状況〉H22年度：9回開催（大東町内1回、加茂町内7回、三刀屋町内1回）
H23年度：8月現在7回開催（大東町内2回、加茂町内2回、木次町内1回、三刀屋町内2回）
- ・病院ボランティアの会（H23.8月現在会員数33名）により平成22年9月から平日の午前中正面玄関において、介助ボランティアを開始していただく。また、外来

フロアーに癒しの空間として絵画や書、写真などを展示する「ふれあい展示コーナー」を設け、展示コーナーの運営にも協力いただく。

なお、ボランティアの会の活動については、定期的に「病院ボランティアの会だより」を発行し紹介している。

- ・救急患者の初期治療や、受診する科が不明な患者の診察などを担う部門として「地域総合診療科（部長：大谷院長）」を平成22年12月より開設。

2、高度先進医療及び地域医療機関との連携に努める。

- ①高度な医療を必要とする4疾病などの治療は、急性期と回復期医療の中心的役割を担いつつ、三次医療機関との連携を図る。
- ②1次医療機関（診療所）との連携を強化する。
- ③圏域内の二次医療機関との連携を図る。

【主な取り組み】

- ・各医療機関との連携の窓口である地域連携係に看護師（師長）を配置し、体制強化を図る。
- ・医師会の事務局を病院内に設置（平成22年11月）し、医師会との連携強化に努める。
- ・各診療所（平成23年1月より提供）、平成記念病院との救急における連携強化を図るため、医師の宿日直体制の情報を提供。
- ・掛合診療所との連携強化を図るため、整形外科医の派遣について協議を進めている。

3、地域保健の充実と介護・福祉との連携に努める。

- ①圏域内の保健・福祉と一体化した地域医療サービスに努める。
- ②地域保健と連携し、糖尿病など生活習慣病の重症化予防に努める。
- ③リハビリテーションを中心とした療養環境を整備し、高齢者が安心できる医療を提供する。

【主な取り組み】

- ・ケーブルテレビにおいて、平成22年5月から奇数月に病院特集番組「病院プレパレード」の放映を開始し、地域への情報発信に努める。なお、平成23年度より毎月放映し、更なる情報発信の充実に努めている（H23年度より番組名を「メディカルガイド医診伝診」に変更）。

〈H22年度番組内容〉

- 5月・・・「病院の新体制紹介」
- 7月・・・「受けよう乳がん健診」
- 9月・・・「治療は食事から」
- 11月・・・「救急外来の一日」
- 1月・・・「病院を支える市民たち ～病院ボランティアの取り組み～」
- 3月・・・「よりよい看護を目指して」

〈H23 年度番組内容〉

- 4 月・・・「春に気をつけておきたい病気・症状」
 - 5 月・・・「健診のすすめ」
 - 6 月・・・「感染症予防のすすめ」
 - 7 月・・・「健康は食事から」
 - 8 月・・・「薬から見える地域医療」
- ・糖尿病教室、運動教室などの各種教室の充実を図り、生活習慣病予防対策の強化に努める（運動教室 4 回、糖尿病教室 2 回、健診フォローアップ教室 1 回）。
 - ・地域連携パスの導入に向け、保健所を中心とする検討会を発足する。

4、地域医療を安定的に提供するための健全経営に努める。

- ①病棟再編成など病床数、診療科の見直しを行う。
- ②安定した医療を提供できる人材確保や育成に努め、また職員意識の高揚を図る。
- ③経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努める。
- ④構成市町（一般会計）との連携を密にし、適正な繰り出し基準による健全経営に努める。

【主な取り組み】

- ・かかりつけ医と病院医師とが共同で入院患者の診療指導を行う、開放型病床（オープンベッド）の運用を平成 23 年 6 月から開始。
- ・島根大学大学院医学系研究科修士課程「地域医療支援コーディネーター養成コース」に、平成 22 年 4 月から職員を受講させ、コーディネーターとして知識を習得すると共に、島根大学医学部との連携強化を図る。
- ・平成 22 年度の医師確保の状況については、7 名の医師と面談しその内 2 名に着任していただく（内科医：H22.5 月 1 名、H23.4 月 1 名）。また、鳥取大学からの派遣により、常勤皮膚科医（H23.1）が 1 名着任。
- ・看護師確保の状況については、平成 23 年 4 月より 5 名の採用が図れたが（内、新卒者 4 名）、平成 23 年 8 月末現在、退職者 3 名（予定者含む）、育休及び産休者 5 名（予定者 4 名）という大変厳しい状況にある。このことにより、これまでの施策に加えて新たに地域住民に対し紹介チラシを配布するなど、看護師確保に努めている。
- ・地域医療人育成センターにおける各種育成事業の充実に努め、別紙「平成 22 年度地域医療人育成センター事業」を中心に取り組んだ。成果として、当院で初期研修を受講した 2 名の医師が、平成 23 年度から着任（後期研修）いただいた。
- ・職員の意識改革と医療の質の向上を図ることを目的に、QC（品質管理 Quality Control）サークル活動を導入し、活動の成果を報告する発表大会を平成 23 年 3 月 5 日に開催（来賓 11 名、職員 160 名参加）。なお、平成 23 年度については、9 月 1 日（木）にキックオフ大会を行い、3 月 3 日（土）に発表大会を開催する

予定。

- ・医師の事務作業を軽減させることを目的に、平成22年6月から医師事務作業補助者を2名配置。
- ・平成23年度より、病院の建替えに向けての検討を開始する。

◆平成23年度の主な取り組み

【運営方針】

- 4疾病5事業の内、5事業（小児医療、周産期医療、救急医療、災害医療、地域医療）を中心とした診療方針の継続
- 医師会との連携強化
開放型病床（オープンベッド）を活用し、医療連携の強化を図る。
- 女性医師の招聘に努める
増加傾向にある女性医師を招聘するため、女性医師専用当直室の設置や院内保育所などの環境整備を図る。
- 地域医療人の育成に努める
地域医療人育成センターの更なる充実を図る。
- 市民への公開と病院祭の実施
出前講座、ケーブルテレビ、市報（4月より病院コーナーを設け毎月掲載）などを通じて情報提供に努めると共に、病院祭を開催（9月10日開催）し市民に開かれた病院を目指す。

実施計画 集計表

H23年8月現在

基本方針		
具体目標		
具体的取り組み事項	具体的取り組み(細区分)	
1、市民生活の安全安心のための医療充実に努めます。		
① 地域医療の拠点病院として、急性期を中心とした医療の提供に努めます。		
(1) 病院の運営・診療方針の明確化	(ア) 病院の運営・診療方針の明確化	
(2) 医療機器、施設設備の充実	(ア) 医療機器、施設設備の充実	
(3) 電子カルテの導入	(ア) 電子カルテの導入	
(4) 予約の推進、受診の効率化	(ア) 予約の推進、受診の効率化	
② 救急医療体制を維持し、市民が安心して生活できる二次救急医療の提供に努めます。		
(1) 医師会との機能分担	(ア) 医師会との機能分担	
(2) 医師会、消防署、関係機関とのネットワーク化	(ア) 医師会、消防署、関係機関とのネットワーク化	
(3) 3次医療との連携強化	(ア) 3次医療との連携強化	
③ 情報発信に努め、定期的に地域との連携の場を確保するなど、地域に開かれた病院を目指します。		
(1) 病院から地域への情報発信	(ア) 病院から地域への情報発信	
(2) 病院あり方懇談会の継続	(ア) 病院あり方懇談会の継続	
(3) 市民組織との連携・市民ボランティアの拡充	(ア) 市民組織との連携・市民ボランティアの拡充	
④ 高齢化の進行に伴い、受診するための公共交通機関の確保の検討を市とともにを行います。		
(1) 交通網の整備(利便性の向上)	(ア) 交通網の整備(利便性の向上)	
2、高度先進医療及び地域医療機関との連携を強化します。		
① 高度な医療を必要とする4疾病などの治療は、急性期と回復期医療の中心的役割を担いつつ3次医療機関との連携を図ります。		
(1) 3次医療機関(高度医療)への紹介	(ア) 3次医療機関(高度医療)への紹介	
(2) 4疾病の自己完結率向上	(ア) 4疾病の自己完結率向上	
(3) 回復期リハビリの充実	(ア) 回復期リハビリの充実	
② 1次医療機関(診療所)との連携を強化します。		
(1) 医師会との連携強化・在宅医療の連携	(ア) 医師会との連携強化・在宅医療の連携	
(2) かかりつけ医制度の周知	(ア) かかりつけ医制度の周知	
(3) 病診連携による機能分担と紹介率の向上	(ア) 病診連携による機能分担と紹介率の向上	
③ 圏域内の2次医療機関との連携を図ります。		
(1) 平成記念病院との連携	(ア) 平成記念病院との連携	
(2) 雲南圏域2次医療機関との連携	(ア) 雲南圏域2次医療機関との連携	
3、地域保健の充実と介護・福祉との連携に努めます。		
① 市の保健・福祉と一体化した地域医療サービスに努めます。		
(1) 健康相談の開催や支援	(ア) 健康相談の開催や支援	
(2) 地域医療との連携	(ア) 地域医療との連携	
(3) 在宅医療の充実	(ア) 在宅医療の充実	
(4) ケーブルテレビ等を活用した健康教室	(ア) ケーブルテレビ等を活用した健康教室	

計画区分(●実施済)			外部協議項目	実施時期及び取り組み状況
短期 (単年度)	中期 (5年以内)	長期 (5年以上)		
●				H22年度運営方針を策定し、広報誌、ケーブルテレビ等で住民周知する
●				整備計画策定 H22.6
	●			H23.8月1日から稼働
○				H23年度中に、外来待ち時間調査を実施予定
	●		●	雲南圏域地域医療関係者連絡会を中心に協議
	●		●	〃
●			●	地域連携係に看護部の師長級を配置し体制強化を図る
●				H23年度から市報へ病院の情報を掲載する
●				評価委員会へ移行し年2回開催
●				介助ボランティア等を開始し拡充に努める
●				病院を中心とした市民バスの時刻表を作成し窓口において活用中
●				予約紹介率の向上に努める H21.11月49%、H22.2月56% 60%目標
	○			医師確保の状況次第
●				H23年度から理学療法士1名、作業療法士1名増員し充実を図る
	●		●	H22.11月から医師会事務局を病院内に開設
○				市・保健所対応
	○		○	医師会との協議
	●		●	医師の宿日直体制の情報を提供し連携強化に努める
	●		●	雲南圏域地域医療関係者連絡会を中心に協議
	○		○	市で調整
	○		○	保健福祉機関との連携
	○		○	市で調整
●				H23.4月より毎月放映中

基本方針	
具体目標	
具体的取り組み事項	具体的取り組み(細区分)
② 地域保健と連携し、糖尿病など生活習慣病の重症化予防に努めます。	
(1) 生活習慣病予防活動の推進	(ア) 生活習慣病予防活動の推進
③ リハビリテーションを中心とした療養環境を整備し、高齢者が安心できる医療を提供します。	
(1) 関係機関との定期的な連絡会議の開催	(ア) 関係機関との定期的な連絡会議の開催
(2) 地域連携パスの導入	(ア) 院内パスの導入
	(イ) 地域連携パスの導入
4、地域医療を安定的に提供するための健全経営に努めます。	
① 病棟再編など病床数、診療科の見直しを行います。	
(1) オープンベッド(開放病棟)・検査機能の活用	(ア) オープンベッド(開放型病床)の活用
	(イ) 検査機能の活用
(2) 療養病床(介護型医療型)の検討	(ア) 療養病床(介護型又は医療型)の検討
(3) 精神科病棟検討	(ア) 精神科病棟検討
② 安定した医療を提供できる人材確保や育成に努め、また職員意識の高揚を図ります。	
(1) 大学との連携強化	(ア) 大学との連携強化
(2) 地域医療人育成センターの充実	(ア) 地域医療人育成センターの充実
(3) 院内保育所の設置	(ア) 院内保育所の設置
(4) 雲南市出身医師の把握と呼びかけ	(ア) 雲南市出身医師の把握と呼びかけ
(5) 中学・高校生の体験の場づくりや学校への医療職の派遣	(ア) 中学・高校生の体験の場づくりや学校への医療職の派遣
(6) 医学部、看護学校への地域枠推薦や奨学金利用促進	(ア) 医学部、看護学校への地域枠推薦や奨学金利用促進
(7) 職員の意識改革(接遇の向上、人権尊重と医療倫理の徹底)	(ア) 職員の意識改革(接遇の向上、人権尊重と医療倫理の徹底)
	(イ) 院内ホームページの開設
(8) 職員研修と専門職の養成、人事交流の実施	(ア) 職員研修と専門職の養成
	(イ) 医事担当職員の養成及び医事業務の体制整備
	(ウ) 看護職員確保対策の検討
	(エ) 人事交流の実施
③ 経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めます。	
(1) 運営形態の見直しと実施(市立病院移行)	(ア) 運営形態の見直しと実施(市立病院移行)
	(イ) 市立病院移行に係る調整事務担当者による調整の実施
(2) 院内組織の見直しと体制の強化	(ア) 病院組織の見直し
	(イ) 公立病院改革プランの成果の検証
	(ウ) 財務会計の改良
	(エ) 財産活用の検討
(3) 病院の建替えの検討	(ア) 病院の建替えの検討
	(イ) 診療科、病床数の検討
④ 市(一般会計)との連携を密にし、適正な繰入基準による健全経営に努めます。	
(1) 繰出基準の明確化	(ア) 繰出基準の明確化

計画区分(●実施済)			外部協議項目	実施時期及び取り組み状況
短期 (単年度)	中期 (5年以内)	長期 (5年以上)		
●				計画的な事業継続
	○			連絡会議の開催
○				H22年度中に一部導入
	○			導入に向け保健所、市などと協議中
●			●	H23.6月から運用開始
●				開業医からの依頼件数:CT・MRI 185件(H23年度実績)
○				国の動向を勘案し検討する
●				H23.3月末で廃止。施設の活用方法については検討中。
	●			強化策実施中
●				体制整備
●				H21.9月開設
	●			情報収集に努めている
●				定期開催
●				利用促進を促す H23.4月現在:地域枠推薦医学生9名、看護学生4名、奨学金貸与者7名
●				H22.9月QC活動開始
○				H23年度中開設に向け準備を進める
	●			研修計画を策定し研修内容の充実を図る
	●			H22.6月より医師事務作業補助者を2名配置する
●	●			ガイダンス参加、看護学校訪問、オープンホスピタルの実施など
				実施中
●				方針決定済
●				調整事務実施
●				組織見直し中
	●			評価委員会で検証
	●			財務会計システムを更新し予算科目を見直す
	○			検討中
		○		検討中
	○			状況に応じ検討
●				繰出基準の調整

(別紙) 平成22年度 地域医療人育成センター事業

業務	事業名	内容・目的・方法など	開催予定日等	参加者	
(1) 地域医療を目指す医師、看護師を中心とする医療職の育成	島根大学医学部医学科特別選抜（地域枠推薦入学）事業 公立雲南総合病院委託学生奨学金貸与事業	島大地域枠推薦入学者の確保及び育成と、看護師養成を目的とした奨学金制度（返済免除の義務年限7年）の利用促進。	平成22年5月中に雲南圏域の各高校を訪問し、奨学金制度の説明を行う。	平成22年4月時点の実績 島大医学部地域枠推薦入学者7名（5年生1名、3年生3名、2年生1名、1年生2名） 看護学生奨学金貸与者7名（3年生2名、2年生2名、1年生3名）	
		島大地域枠推薦医学生との意見交換	第1回 平成22年7月13日 島大交流サロンで開催 第2回 平成22年10月30日 出雲市	第1回 大谷、石原、勝部、医学生3名 第2回 速水、秦、松井、大谷、石原、勝部、医学生9名	
		島大地域枠推薦入学者に係る医療体験実習	第1回 平成22年8月2日～6日実施 第2回 平成23年3月28日～4月1日実施	第1回 松江北校1名、大社高校1名 第2回 三刀屋高校1名、出雲高校1名、松江南高校2名、松江北高校1名	
(2) 島根大学医学部「地域医療教育学講座」、 「地域医療支援学講座」との連携 島根大学医学部附属病院「地域医療教育研修センター」との連携 「若手医師育成・定着事業計画」	地域医療教育連絡会	島根大学医学部6年生が行う3週間の地域医療実習の受入病院と連絡会議を開催する。	平成22年10月15日	大谷、石原、勝部	
	島根大学医学部附属病院研修管理委員会	臨床研修プログラムに関する検討会。	平成22年10月23日	佐野	
	初期・後期臨床研修プログラムセミナー	初期後期臨床研修プログラムをより充実させ魅力的なプログラムにするための検討及び支援としてセミナーを開催する。	平成23年11月20日	大谷、勝部	
	臨床研修指導医講習会	厚生労働省の定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づき開催し、県内研修医の研修環境全般のレベルアップを目指す。		今年度申し込み無 （修了者10名）	
	地域医療セミナー&医学生夏季・春季実習	地域医療への興味関心を持ってもらうことを目的としセミナー・実習を行う。	平成22年8月18日、19日実施	自治医科大学4年生1名	
	島根県臨床研修病院連絡会議	県内研修病院管理者及び実施責任者が地域医療研修体制及び臨床研修全般について協議し連携を強化する。	平成23年2月7日	大谷	
	初期・後期臨床研修ガイダンス	医学生及び研修医等を対象に初期後期臨床研修プログラム等の全体及び個別説明を行い、各臨床研修病院の研修内容をアピールする。	平成23年11月20日	ガイダンスは基幹型病院指定取り消しにより不参加	
	若手医師ステップアップ研修及び意見交換会	県内で研修中の初期後期研修医等が一堂に会し、若手医師の参考になる講演会等及び意見交換会を行い、県内研修医の研修環境全般のレベルアップを目指す。	平成22年8月28日	勝部	
地域医療支援コーディネーター養成コース（大学院修士課程）	職員を左記コースに受講させ医療人としての知見を高め、島根大学医学部との連携強化と、医師の就労支援強化を図る。	平成22年度から2年間	受講者：勝部琢治		
(3) 医学生による地域医療研修及び地域医療実習	島根大学医学部「地域医療病院実習」	大学では体験できない様々な医療の側面を学習し、医療全体を見渡すことのできる広い視点を養い、医療の本質に対する理解を深めることを目的。	平成22年4月～7月	島大医学科6年生 25名参加	
(4) 初期・後期臨床研修医の募集及び指導	基幹型臨床研修病院（協力型病院：県立こころの医療センター）	臨床研修医募集 マッチング参加 初期・後期臨床研修ガイダンスにて研修内容説明。	平成23年度より基幹型臨床研修病院取り消し	マッチング無（平成15年度より 0名）	
	協力型臨床研修病院としての研修医受入	島根大学医学部附属病院（卒後臨床研修センター関係）	大学の協力型病院としてH24年度から6月研修実施		総合医研修 2～3名予定
		島根大学医学部附属病院（地域保健・医療、産婦人科）	全月2名受入可		2年目研修医 4名（2か月3名、3か月1名）
		島根大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラムにおける「地域保健・医療研修」の研修機関からの説明会」及び地域研修機関と初期臨床研修医との意見交換会」	平成22年10月23日		佐野、石原
		県立中央病院（地域保健・医療）	1か月		2年目研修医 4名
		松江生協病院（地域医療）	平成22年度～		なし
出雲市民病院（外科、救急、小児科、産婦人科）	11か月間		1年目研修医 1名、2年目研修医 1名		
(5) 初期・後期臨床研修プログラムの作成	基幹型臨床研修病院	平成23年度より指定取り消し			
(6) 中学生、高校生の職場体験活動	高校生医療現場体験セミナー	将来医師、看護師を始めとする医療職を目指す学生を増やすことを目的に開催する。	第1回 8月9日 第2回 3月28日	第1回 県内東部の高校から11名参加 三刀屋、大東、横田、飯南、出雲 第2回 県内東部の高校から13名参加 大東、三刀屋、横田、松江南	
	三刀屋高校職場体験学習	体験を通じて自己のあり方、生き方の学習と、将来の進路意識・目的意識の高揚を目指す。	平成22年10月13日～15日	三刀屋高校1年生6名参加	
	中学校職場体験（雲南市「夢」発見ウィーク）	雲南市内の中学3年生を対象に、将来目指したい職場を体験させ、社会の仕組みや現実を肌で感じさせることを目的に雲南市教育委員会主催で開催。	平成22年9月28日～30日	雲南市内5校9名参加 大東3名、加茂2名、木次2名、三刀屋1名、掛合1名	
(7) その他、病院長が必要と認める業務。					